

市民の安全安心が確保されるまで柏崎刈羽原発の再稼働はだめ 上越市議会が関係機関に意見書提出へ

12月議会の最終日、「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する意見書」が賛成26、反対5の賛成多数で採択されました。

この意見書では、「東京電力が2013年度中に柏崎刈羽原発の再稼働等を盛り込んだ『総合特別事業計画』を策定し、政府はこれを認定した。これを受け、東京電力は同原発の来年度からの再稼働に向けた準備を進めている」「再稼働には不安も多く、新潟県内においても県技術委員会が独自の検証を進めているが、現段階において、柏崎刈羽原発の再稼働には問題があり、隣接自治体である上越市の議会としても市民の安全安心が確保されるまで、同原発の再稼働には賛同できるものではない」として、同原発の再稼働の判断に対しては、さらなる徹底検証と慎重な対処を求めています。

私たち日本共産党議員団では、現段階だけでなく、将来にわたって柏崎刈羽原発は再稼働させてはならないと思っておりますが、この意見書は来年度にも再稼働させたいとする東京電力や政府に対して待ったをかける一定の役割を果たすものと判断して賛成しました。

「柏崎刈羽原発の再稼働を認めないよう求める請願」は不採択

市民団体から提出されていた「柏崎刈羽原発の再稼働を認めないよう求める請願」はこの意見書提出前に審議されましたが、賛成議員が12人となったものの、賛成少数で不採択となっていました。

同請願は、「つなげよう脱原発の輪 上越の会」(代表 植木史将さん)が提出したもので、



で、「福島第一原発の1・8倍で日本一の規模と言われている柏崎刈羽原発は、中越沖地震で甚大な被害を受け事故寸前になった。そして柏崎刈羽原発の周辺には活断層が存在し、今でも原発の構造上絶対に安全とは言い切れない状態だ」「にもかかわらず、政府と東京電力は柏崎刈羽原発の再稼働を計画している」が、「市民の生活と市民の生命を守るために、再稼働反対の明確な意思表示を求める」というものでした。つまり、現段階だけでなく、ずっと再稼働させてはならないという内容でした。

討論では、日本共産党議員団を代表して平良木議員(写真)が登壇、「そもそも原子力発電所の事故は、ひとたび放射性物質が大量に放出されると、その被害が空間的にも、時間的にも、社会的にも限定なしに広がり続け、人類は、それを防止する手段を持っていない。また、福島原発事故で大気中に放出された『死の灰』は、原子炉内総量の1割程度で、放射性ヨウ素やセシウムなどは1く2%に過ぎないと言われ、

もつと大量に放出される事故も想定される。まして、福島第一原発の1・8倍で、世界一の規模である柏崎刈羽原発では、ひとたび過酷事故が起こると、その被害は計り知れない」「同原発を管理する東京電力は、たび重なる事故隠しやデータ改ざんを繰り返すなど、管理能力が根本的に欠けている点も指摘されている。こうしたことから、柏崎刈羽原発の再稼働は、市民、県民の命と暮らしを守るためにはどうしていい許すことができない」とのべ、請願に賛成しました。反対討論は無しでした。

賛成議員は日本共産党議員団の橋爪法一、上野公悦、平良木哲也の3人の議員の他、市民クラブの柳沢周治、本城文夫、小林和孝の3議員、会派・新政の草間敏幸、滝澤一成の2議員、会派・みらいの中川幹太議員、無所属の石田裕一、石平春彦、永島義雄の3議員でした。



【からし巻き】生の大根を薄く切って一度乾燥させる。その後熱湯で戻してしんなりとなってから辛子を巻き付ける。そして、醤油・砂糖などを合せた漬け汁に漬け込む。写真は吉川区旭地区のWさん宅でいただいたものです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	12月12日(水)	12月19日(水)
上越南消防署	0.030	0.040
上越北消防署	0.050	0.040
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.063	0.046
頸南消防署	0.043	0.050
東頸消防署	0.047	0.047
高土分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.040	0.046

春よ来い 第二十三回 はんてん

「忙しいろでもお茶飲んでいきなさい」。雪が降りやんで、少し落ち着いたある日のこと、二人のお母さんに誘われました。その日は朝から飛び回っていたので、喉もかわいていました。遠慮しないでお茶の仲間に入れてもらいました。

テーブルの上には野沢菜漬けとサトイモのゆでたものが出ています。サトイモは、金網のボールの中に小さなものばかりが入っていました。私の住んでいるところでは「イモの子」と呼んでいるものです。上手にゆでてあって、皮もぴろりとむくことができるので、次々と手を出してしまします。

「イモの子」を御馳走になりながら、二人でおしゃべりを楽しみました。今年は何年よりも雪が早くやってきて、しかも真冬のような降り方をしました。すぐに雪の話になりました。

「まあ、重たい雪降ったこと」

「そうそう、重かったね。でも、そのわりにや、杉ん木、折んねかった」

「こんだ、雪も息すりやいいけどもね」

「はあ、息しなけりやこまるわ。まだ一二月の半ばだでね。上川谷は二メートル近くも降ったというし……」

二人のお母さんのうち、Yさんは少し耳が遠くなったようで、時どき、同じ言葉を繰り返さなければならぬ場面もありました。でも元氣です。

もうひとりのNさんからは悲しい出来事を聴きました。先日亡くなったKさんの話です。Kさんは大島区板山からNさんの近所に嫁いできた人ですが、亡くなる前の日の話が切ないものでした。

Kさんはここところずつと一人暮らしでした。同じ集落の、やはり同じ一人暮らしの二人のお母さんたちと毎日のように会い、励ましあって生きてきました。一人暮らしは自分以外の人を気遣い遠慮する必要のないことがいいところなんです。三人のお母さんたちは、「暗くなるうが昼になるうがお茶のみをしてぐるぐるっと回っている」ほど親密な関係になっていました。

亡くなる前日も、Kさんは一人暮らし仲間の家を訪ねていたといっています。ただ、いつもと違って、最後の別れの挨拶に来たような感じがあったというのです。

その日、Kさんはお茶飲み仲間の一人、「宮の前」のお母さんの所へ新品の「はんてん」を届けました。たまたま留守だったので、Kさんは「はんてん」のそばにメモを置きました。そのメモには、何ということでしょう、「これまで一緒にお茶のみをさせてもらって楽しかった」と書かれていたというのです。

Kさんは最近体調が悪く、亡くなった日の翌日に病院へ入ることになっていました。入院の翌日には手術も予定されていたそうです。入院すれば、生きて家に帰ることができないかもしれない。Kさんはそう思って、お礼のつもりで「はんてん」をプレゼントされたのだと思います。それにしても、もらった人はびっくりされたでしょうね。

「はんてん」は板山から高田へ出た実家の人からKさんがもらったもの。綿がたっぷり入っていて暖かく、柄も良いと近所の人たちの間では評判になっています。「宮の前」のお母さんは、「おれだって、いっどんなんなるかもしらんすけ、しまつとかんで着るこて」と言って、いま、この「はんてん」を毎日着ています。

高橋ミキ子候補は新潟6区の国政選挙で過去最多の得票

注目の衆院選は16日に投開票が行われました。日本共産党は、60年にわたって続いてきた自民党型の古い政治から抜け出し、真に国民本位の政治を実現させようと訴え、議席倍増をめざしましたが、残念ながら達成できませんでした。

比例北陸信越ブロックでは今回も議席獲得できず

日本共産党は衆院新潟6区小選挙区選挙で高橋みきこ候補を先頭にたたかいました。結果として13,914票(09年衆議院選比4,692票増。前回の約1.5倍)という大きな前進を得ました。

しかし、残念ながら比例区選挙では、9,247票(09年衆議院選比2,738票減・10年参議院選比512票増)にとどまりました。その結果、比例の北陸信越ブロックでは今回も議席を獲得できず、全国的には改選9議席から8議席への後退となりました。

今回の選挙選に取り組むにあたり日本共産党は、これまでの国政選挙で最も厳しい結果となった10年参院選時の得票から出発し、飛躍を勝ち取るという方針をかかげました。この点から言うと、県内では6区の上越市、糸魚川市、妙高市、津南町が10年参議院選より得票を増やし、特に上越市では540票増やし、県内で最も増やしています。

今回の選挙結果について、阿部正

義新潟6区選対委員長は、「比例代表で北陸信越ブロックでの議席奪還を果たせなかったことに対して、大きな責任を感じている。来年の参院選を目指し、党の自力をつけることを重視し、頑張りたい。日本共産党に大きな期待を寄せ、大奮闘いただいたみなさんに心からの感謝とお礼を申し上げたい」との談話を発表しました。

総選挙得票比較表 (09年衆院選, 10年参院選対比)

自治体名	12年衆院選挙区	09年衆院選挙区	増減	12年衆院選比例票	09年衆院選比例票	増減	10年参院選比例票	増減
上越市	7649	5069	2580	4848	6308	▼1460	4308	540
糸魚川市	1715	1111	604	1376	1567	▼191	1324	52
妙高市	1244	733	511	691	953	▼262	662	29
上越地区計	10608	6913	3695	6915	8828	▼1913	6294	621
十日町市	2767	1918	849	1858	2529	▼671	1980	▼122
津南町	539	391	148	474	628	▼154	461	13
6区合計	13914	9222	4692	9247	11985	▼2738	8735	512